

生涯学習時代の 拠点として



宮城県図書館長
熊谷 繁

この4月から、新館オープン2年目を迎えた宮城県図書館の館長として、重責を担うこととなりました。新館は、閲覧室の充実を始め、こども図書室や展示室の新設、視覚障害者に対する音訳サービスの提供などさまざまな機能を備えていることから、昨年度の入館者は約104万人、貸出冊数は約97万冊という成果を挙げております。新しい図書館のサービスはお陰様で県民皆様の高いご支持をいただいていると言えるかと存じます。

県図書館の役割は、来館者に対する直接サービスの提供はもちろん、豊富な資料を背景としての市町村図書館への協力貸出やレファレンスサービスなど、質の高い図書館サービスを全県域に亘って提供することです。生涯学習時代の情報の拠点として、市町村図書館や公民館、関係機関との協力・連携の下、県民のための親しみやすい図書館として参りたいと存じますので、皆様の一層のご利用をお願い申し上げます。

◆なるほど情報◆

みやぎ資料室&新聞・雑誌室から

巻頭のエッセー『触読のすすめ』は、仙台市在住の作家・佐伯一麦さんのご寄稿です。佐伯さんの著書『川筋物語』（かわすじものがたり＝1999年 朝日新聞社刊）など、宮城県関係の本や資料は、「みやぎ資料室」（3階西側）でいつでも閲覧（えつらん）できます。貸出用の『川筋物語』は一般図書室にあります。

また、『川筋物語』は単行本として出版される前に、『アサヒグラフ』（1997年4月25日号～1998年6月19日号 朝日新聞社刊）に連載されました。単行本にはないグラフィア写真も多数載っていて、最初に掲載された雑誌を探すという図書館ならではの楽しみ方ができるのではないのでしょうか。閲覧を希望される方は、新聞・雑誌室（3階東側）でお申し込みください。

『本を探す』

検索のポイントと本探しのコツ

書架を探しても、検索(けんさく)してもお目当ての本が見つからないときってありませんか。そのとき、すぐにあきらめないでください。

図書館にある本や資料は、利用者が効率的に探し出せるように、いくつかのルールに基づいて、整理、保存されています。このルールがわかれば、読みたい本、調べたい本を的確に、すばやく探し出せるのです。

今回は、一般図書室の本を中心に、検索のポイント、本探しのコツを紹介しましょう。

書名の読み方で検索するときは カナ入力の決まりに注意

◎ 司馬遼太郎の『街道をゆく』を読みたいと思い、キーボード式の検索用パソコンに「カイドウヨク」と入力しましたが、「検索結果0件でした」の回答。探し方が正しくないのでしょうか。

●検索用パソコン館内には18台の検索用パソコンがあります。使い方に慣れると本探しもスムーズに。



Ⓐ 書名を読み方で検索する場合、カタカナで入力しますが、「カイドウヨク」では出てこないのです。助詞の「ヨ」は「オ」に置き換えて、「カイドウオク」と入力してください(ポイント1参照)。このルールは「日本目録規則(1987年版)」に基づくものです。パソコンが導入される以前に使われていた「カード式目録」は、一般的に発音どおりの書名の読み方で、アイウエオ順に並べられていました。これは図書館界の約束事なのです。

今では、パソコンで『街道をゆく』のように漢字検索(書いてあるとおりの文字で本を探すこと)ができるようになったので、どうしても思うかもしれませんが、読み方で本を探すときはご注意ください。

また、『街道をゆく』『街道を行く』など、書名が正確でない場合にも、本は探せません。書名があいまいな場合には、まずはできるだけ短い単語「カイドウ」で検索してみる方法もあります。

読み方で探すとき カナ入力のポイント

ポイント1

『吾輩は猫である』は、「ワガハイワネコデアル」と入力。助詞の「〇〇は」「〇〇へ」「〇〇を」は、「ワ」「エ」「オ」に置き換えます。

《例》明日は→アスワ 山へ→ヤマエ 君を→キミオ

ポイント2

『夢のつづき』は、「ユメノツズキ」と入力。「ち」「づ」がある場合は、「ジ」「ズ」に置き換えます。

ポイント3

PTAは、「ピーティーエー」と入力。アルファベットは原則としてカナに置き換えます。A(エー)H(エイチ)J(ジェー)T(ティー)V(ヴィ)W(ダブルユー)Z(ゼット)

《例外》「Windows」は「ウインドウズ」(読み方)で入力します。

ポイント4

数字のカナ読みは例外もあるので注意。0(レイ)1(イチ)2(ニ)3(サン)4(ヨン)5(ゴ)6(ロク)7(ナナ)8(ハチ)9(キュウ)10(ジュウ)

《例外》20世紀→ニジッサイキ/10日→トオカ